

救急脳卒中センター

医療法人青樹会

一之瀬脳神経外科病院

医療連携課だより

2026年10月吉日
第14号

日頃よりのご支援、ご高配に心より御礼申し上げます。

2026年4月当院に新しく着任した脳神経外科 青山医師のご挨拶と、
近年マグネットネイルをされている方が増えてきているため、当院の対応をご案内いたします。

新任医師 挨拶



2026年4月一之瀬脳神経外科病院に着任いたしました
青山達郎と申します。

私はこれまで、主に脳卒中や頭部外傷、脳腫瘍に対する
開頭手術を中心に研鑽を積んでまいりました。

特に、一刻を争う脳梗塞や脳出血、くも膜下出血の治療
においては、迅速かつ的確な治療で後遺症を最小限に抑え、
できるだけ自宅退院を目指したいと考えております。

当院は脳卒中の中核となる一次脳卒中センターコア（PSC コア）に認定され、
急性期脳梗塞に対する rt-PA 静注療法、カテーテルによる血栓回収療法を積極的に行っ
ており、在宅復帰の可能性も高まるのではと考えています。

日々の診療につきましては地域の先生方から安心して患者さんをお任せいただけるよ
う、ご紹介いただいた際には速やかに診察・検査を行い、丁寧なフィードバックを徹底
することを心がけます。もちろん、脳卒中以外のめまいや頭痛などの患者さんでも、
どうぞお気軽にご紹介ください。急性期治療後は、先生方のもとへ紹介させていただき、
当院でも適切なフォローを行ってまいります。微力ながら先生方と共に地域の皆様のお
役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

2026年8月29日 片頭痛講座 開催しました！

前回5月30日に開催した「片頭痛講座」ですが、大変ご好評頂き
2回目の開催となりました。

頭痛でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひ当院へ
ご紹介ください！



当院ではマグネットネイルをされている方は MRI 検査が実施できません

※2026 年 10 月時点

○なぜマグネットネイルをしていると MRI 検査ができないの？

マグネットネイルには鉄粉などの磁性粉末が含まれています。
そのため、MRI の強力な磁力と電磁波に反応し以下のリスクがあります。



- ・ネイルが発熱し爪や皮膚のやけどや変色
- ・ネイル内の鉄粉で指先に火花が発生する
- ・ネイルに含まれる金属が強力な磁力に引っ張られることにより、一部が剥がれ MRI 装置に吸着し故障の原因となる
- ・画像への影響（アーチファクト等）



○当院での対応

マグネットネイルをされている場合、当院ではマグネットネイルを除去してから受診していただくようお願いしております。

来院してからマグネットネイルをされている事が分かった場合、MRI 検査の実施ができないためネイル除去をしてから当日検査または後日再予約のご案内をさせていただきます。

（※磁性体の含まれるジェルネイルをされている方も同様の対応となります。）

ご紹介いただく際に、お手数ですが MRI の禁忌と併せてマグネットネイルの有無もご確認ください。

実際に爪や皮膚のやけどや変色などの事故が国内で発生しています。

そのため安全が確認できるまで現段階では、患者さんの安全と機器の保全のために当院では上記の対応をさせていただきます。

ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



一之瀬脳神経外科病院 医療連携課

TEL : 0263 (48) 3622 FAX: 0263 (48) 2121

（平日 8:30～17:30 土曜 8:30～12:30）

※時間外・休日の救急患者紹介は代表 TEL 0570-099-365 へご連絡ください。

